

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(755)7500
担当部課名	生涯学習部	小山公民館		
事務事業名	小山公民館文化祭	事業コード	15110	

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	~63 年度
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
日ごろのサークル活動の成果を披露する。		管内市民等	
		対象数	約2万人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
10月28日(日)及び11月3日(土)・4日(日)に開催		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名 小山公民館実施計画	
		計画年次 年度~ 年度	
		本計画に基づき、各事業を推進する。	

4 評価指標

指標名	会議開催数の抑制		
指標式			
指標設定の意図	効率的な事務運営を目指す。4回あった会議を半分に削減する。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	4	4	a 2	b 2	2
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	130	130	130	130
	人員・時間数	0.2人	0.2人	0.1人	0.1人
	人件費	1,684	1,684	842	842
	その他経費	0	0	0	0
	合計	1,814	1,814	972	972
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由 :	目標どおりに実施できたから		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A : 適応している	理由 :	展示内容・方法などほとんど変化が見られない。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	少ない予算で効果的に運営できた。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	公民館管区内の市民の祭典であるから。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	集客力が鈍化している。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	地域文化の振興は、生涯学習社会を充実させるのに有効であるから
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 展示方法を見直し、集客増を図る。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 予算を適切に執行した。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	今後も地域文化の振興のため、より良い発表の場として環境整備を図りたい。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--